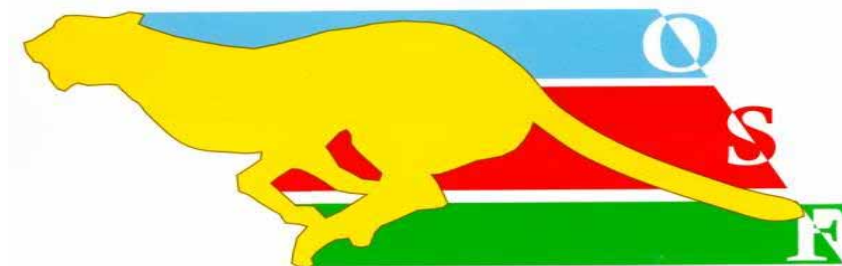


証券のための金融、証券による金融

大証金ファクト・ブック



平成17年5月10日、11日(大阪、東京)

大証金

<http://www.osf.co.jp/>

目 次



1. はじめに

(1) 会社の特色.....	1
(2) 信用取引と貸借取引.....	2
(3) 信用サポートローン利用先の拡大.....	5

2. 平成16年度連結決算の概要

(1) グループの概要.....	6
(2) 決算の推移（連結、単体）.....	7
(3) 関係会社の決算状況.....	8

3. 当社の収益動向

(1) 平成16年度決算の特徴.....	9
(2) 主要勘定の推移等	
資金運用残高、利鞘収入.....	1 1
利回り、利鞘.....	1 2
資金運用残高の内訳.....	1 3
証券レポ残高の内訳.....	1 4
部門別運用収益.....	1 5
資金調達残高の内訳.....	1 6

有価証券貸付料の内訳.....	1 7
一般管理費の内訳.....	1 8

4. 経営指標の状況

(1) 健全性チェックリスト.....	1 9
(2) 収益性関連指標の推移.....	2 0

5. 今後の取組み

(1) 経営目標についての考え方.....	2 1
(2) 株主重視の経営	
株主アンケートの結果.....	2 2
株主への利益還元状況.....	2 3
(3) 中期経営計画の実現.....	2 4
(4) 平成17年度の見通し.....	2 5
(5) 収益力向上の4つのエンジン.....	2 7



1. はじめに

(1) 会社の特色

- 〔役割〕 ○ **証券取引法の免許を受けた会社で制度金融（貸借取引）の担い手**
- **証券関連融資や証券貸借を通して証券市場の機能発揮をバックアップ**

- 〔概要〕 ○ **東京（第1部）、大阪（第1部）の各証券取引所に上場**
- **資本金35億円、株主資本245億円で、自己資本比率は高水準**
- **役職員全体で90名強の少数精鋭**

- 〔実績〕 ○ **経常利益は、創立以来50年余黒字を継続**
- **配当金は、平成2年以来、年6円を継続**
- **格付は上位**

発行体格付けは ^{シングルAマイナス} **A** - [R & I（格付投資情報センター）]

短期格付けも ^{エイワン} **a-1** [R & I]、^{ジェイワン} **J-1** [JCR（日本格付研究所）]

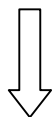
（単体ベース）



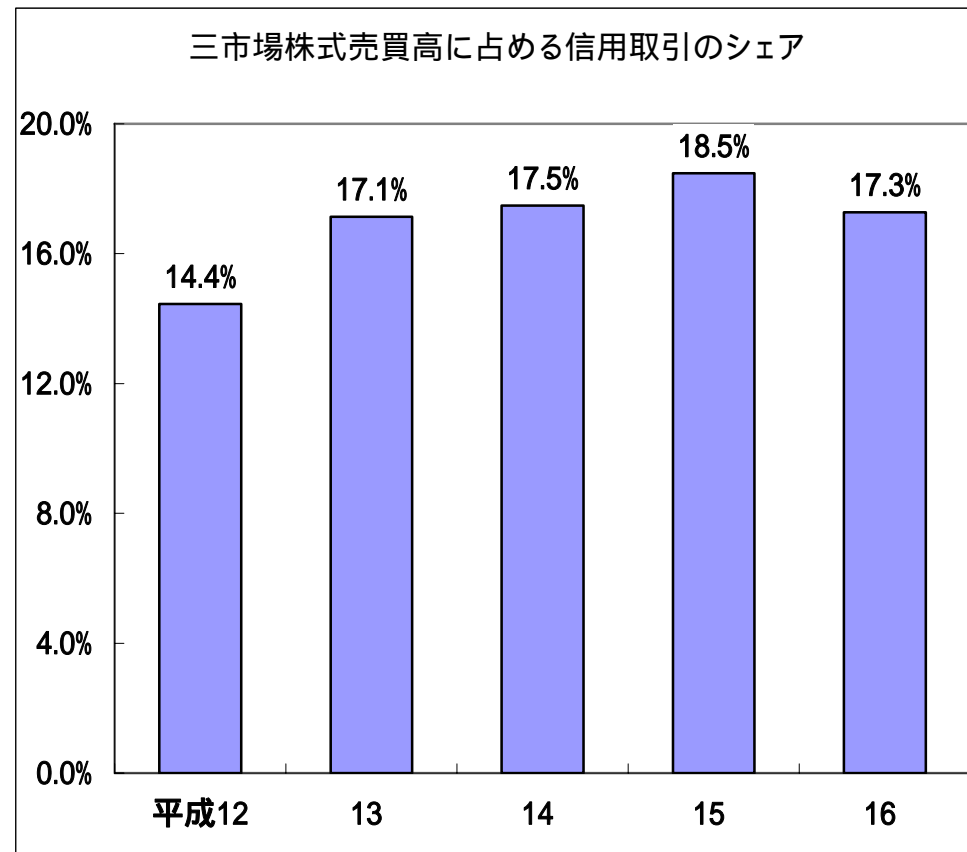
(2) 信用取引と貸借取引

信用取引の特徴

- ・レバレッジ（通常30の資金で
100の投資が可能）
- ・「買い」だけでなく「売り」もできる。



流動性の向上に貢献



(注)三市場(大阪・東京・名古屋)、暦年ベース

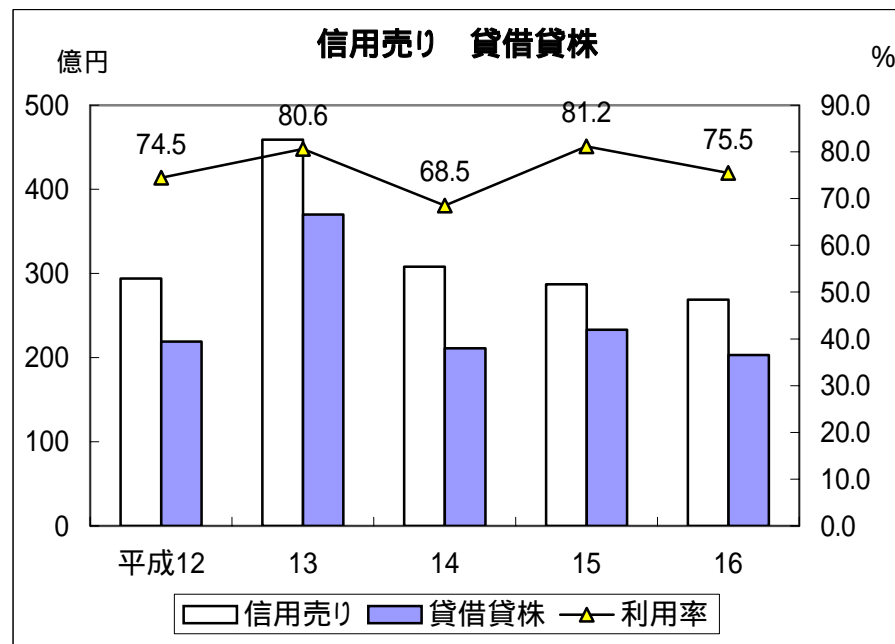
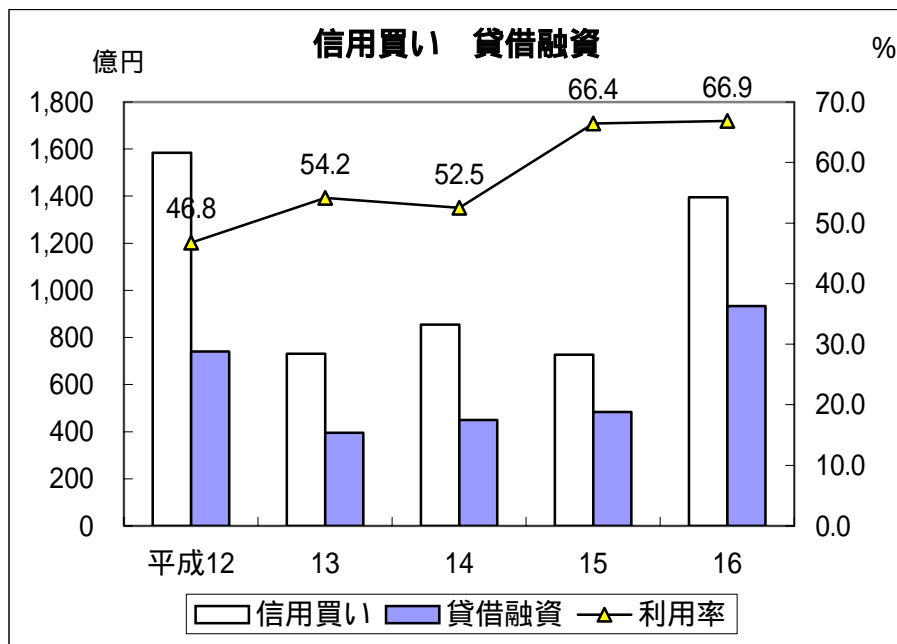
「制度信用取引」をバックアップする貸借取引



制度信用銘柄のうち一定の条件(売買高、株式数等)を満たした銘柄 「貸借銘柄」

大阪市場では、制度信用取引の「買い」については2年連続「60%以上」を「貸借取引」でバックアップ
「売り」については「80%程度」

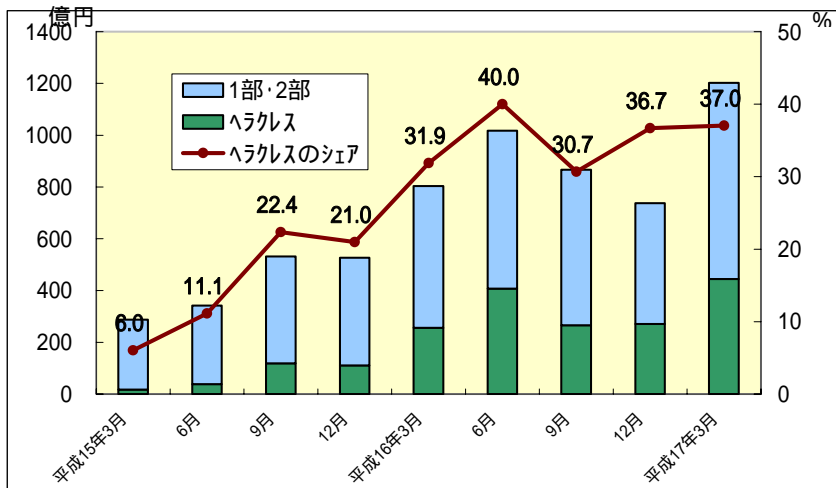
制度信用取引における貸借取引の利用状況(大阪市場)



(注)年度ベース、平残ベース



貸借取引融資残高に占めるヘラクレス銘柄のシェア推移

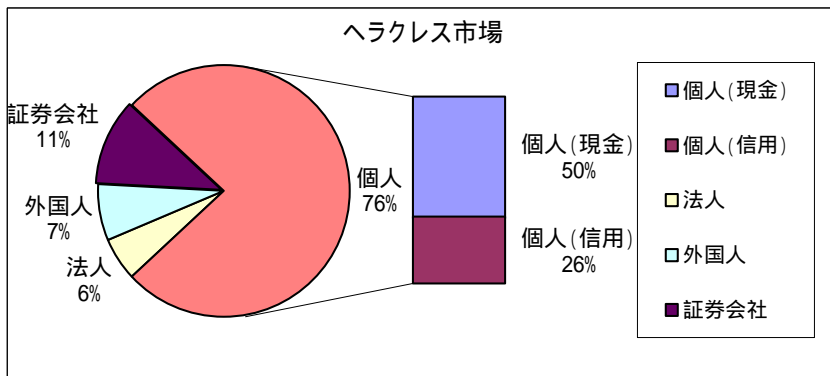


新興企業向け市場の貸借取引利用状況

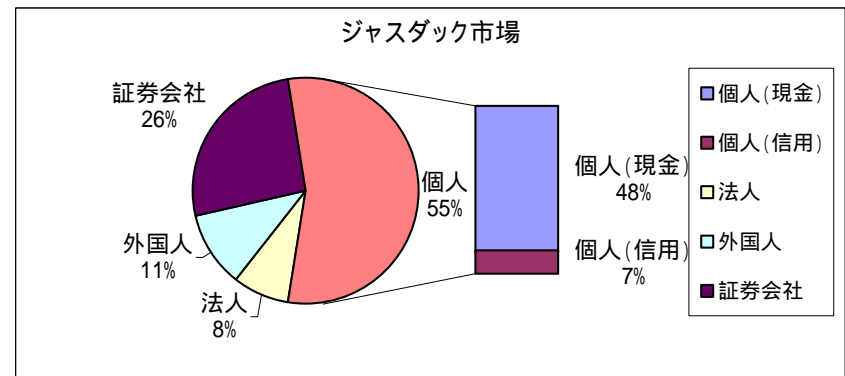
(平成17年4月末)

	上場銘柄数	制度信用銘柄		貸借融資残高 (百万円)	貸借株残高 (百万円)	
		内 貸借銘柄	内 貸借融資銘柄			
ヘラクレス	116	116	25	91	51,663	1,357
マザーズ	136	35	15	20	27,965	2,774
ジャスダック	943	209	65	144	58,226	3,435

売買参加者の内訳(ヘラクレス市場とジャスダック市場:平成16年暦年、金額ベース)



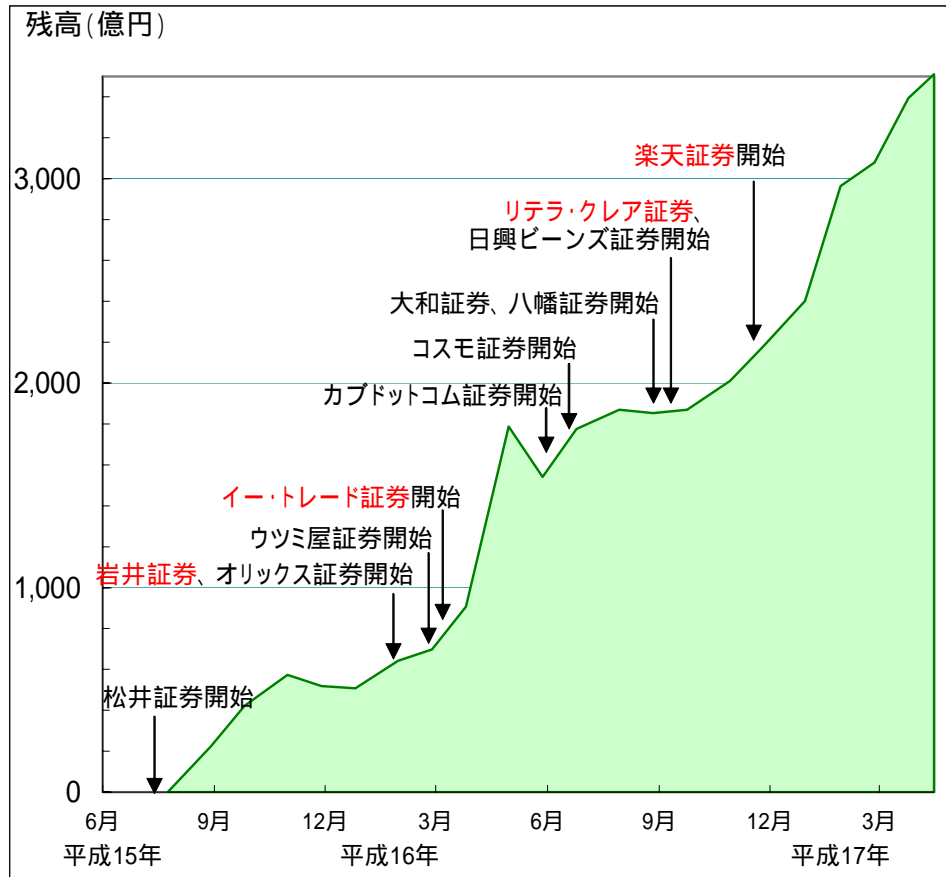
(注) 大阪証券取引所ホームページ資料(投資部門別売買状況)より作成



(注) ジャスダックホームページ資料(投資部門別売買状況)より作成



(3) 一般信用取引(無期限信用)残高と信用サポートローン利用先の拡大



15年7月 松井証券が開始

16年3月 岩井証券、オリックス証券開始

4月 ウツミ屋証券開始
イー・トレード証券開始(信用サポートローン利用)

7月 カブドットコム証券開始
コスモ証券開始

10月 大和証券、八幡証券開始
リテラ・クリア証券開始(信用サポートローン利用)
日興ビーンズ証券開始

11月 岩井証券 信用サポートローン利用

12月 楽天証券開始(信用サポートローン利用)

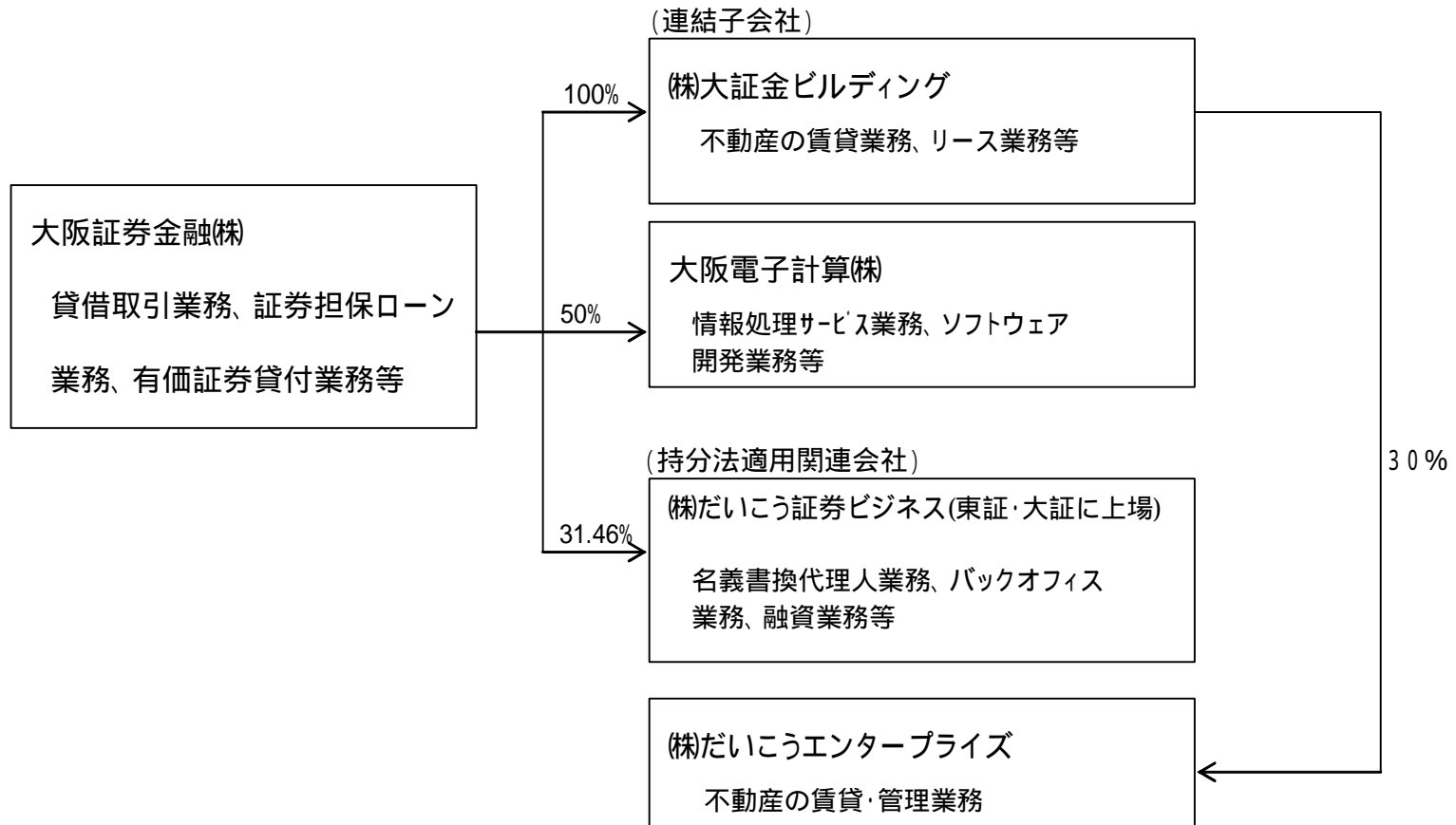
(カブドットコム、八幡証券は3ヵ月期限、楽天証券は3年期限)

(注) 16年3月までは3市場信用買残高、16年4月以降は3市場信用買残高+JASDAQ市場信用買残高合計



2. 平成16年度連結決算の概要

(1) グループの概要





(2) 決算の推移(連結、単体) - 連結は大幅増益

(単位:百万円)

年 度	連 結			単 体		
	営業収益	経常利益	当期純利益	営業収益	経常利益	当期純利益
平成 12	8,888	183	347	4,020	286	307
13	9,837	83	14	4,813	138	150
14	6,255	472	527	3,623	479	547
15	7,021	967	586	3,575	649	633
16	6,659	1,317	973	3,611	633	622



(3) 関係会社の決算状況

(単位：百万円)

年度	連結子会社						持分法適用関連会社					
	(株)大証金ビルディング			大阪電子計算(株)			(株)だいこう証券ビジネス			(株)だいこうインタープライズ'		
	営業収益	経常利益	当期利益	営業収益	経常利益	当期利益	営業収益	経常利益	当期利益	営業収益	経常利益	当期利益
平成 12	754	59	32	3,041	21	20	10,042	1,642	762	318	54	31
13	741	102	59	3,314	333	183	10,520	1,156	191	315	41	24
14	736	94	89	2,622	129	49	9,854	665	225	286	27	16
15	715	189	127	3,606	302	60	10,139	1,024	206	248	6	4
16	652	153	151	3,316	436	376	11,520	1,217	644	195	8	5

(注) (株)だいこうインタープライズは平成13年度より持分法適用

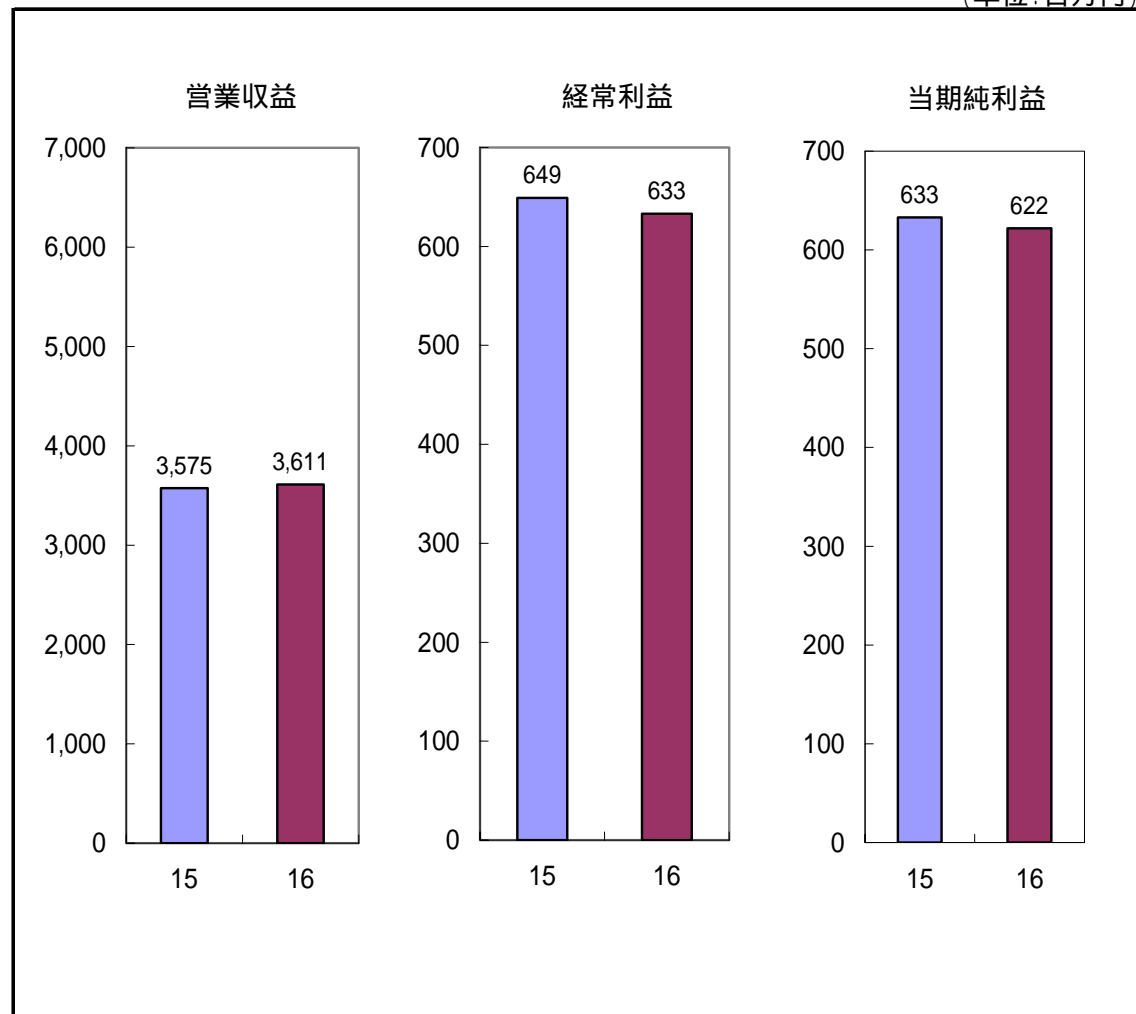


(単位:百万円)

3. 当社の収益動向

(1) 平成16年度決算の特徴

- 営業収益は増収
- ・貸付金利息の増収
- 経常利益、当期純利益は
ほぼ横ばい
- ・利鞘収入は増収
 - ・一般管理費で償却勘定
が増加



(注) 年度ベース



営業収益の推移

(単位:百万円)

年 度	平成12	13	14	15	16
営業収益	4,020	4,813	3,623	3,575	3,611
うち 資金運用収益	2,940	2,285	2,703	2,771	2,899
うち 有価証券貸付料	1,050	2,479	876	740	593

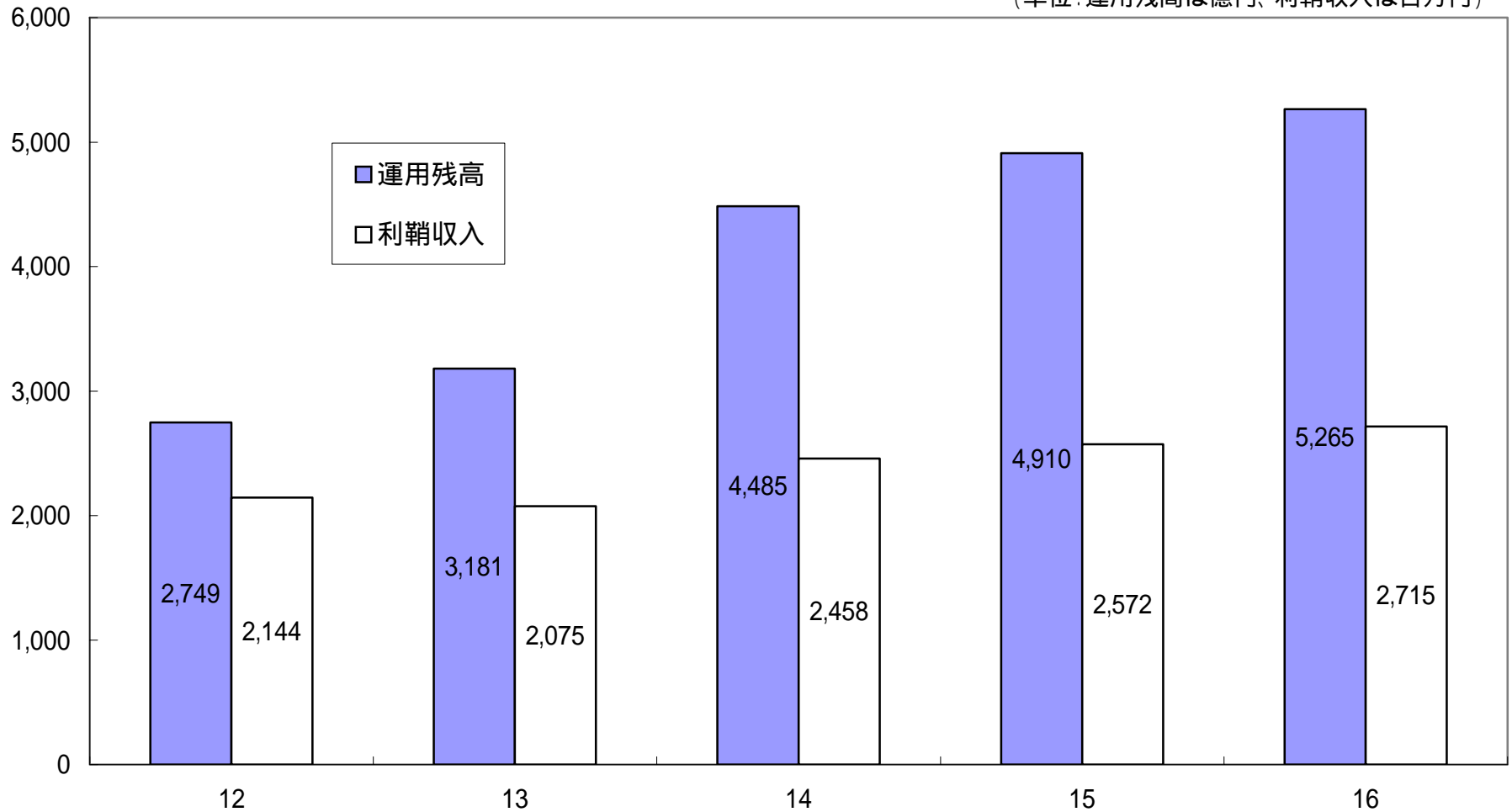
(注)年度ベース



(2) 主要勘定の推移等

資金運用残高、利鞘収入 残高、収入ともに増加

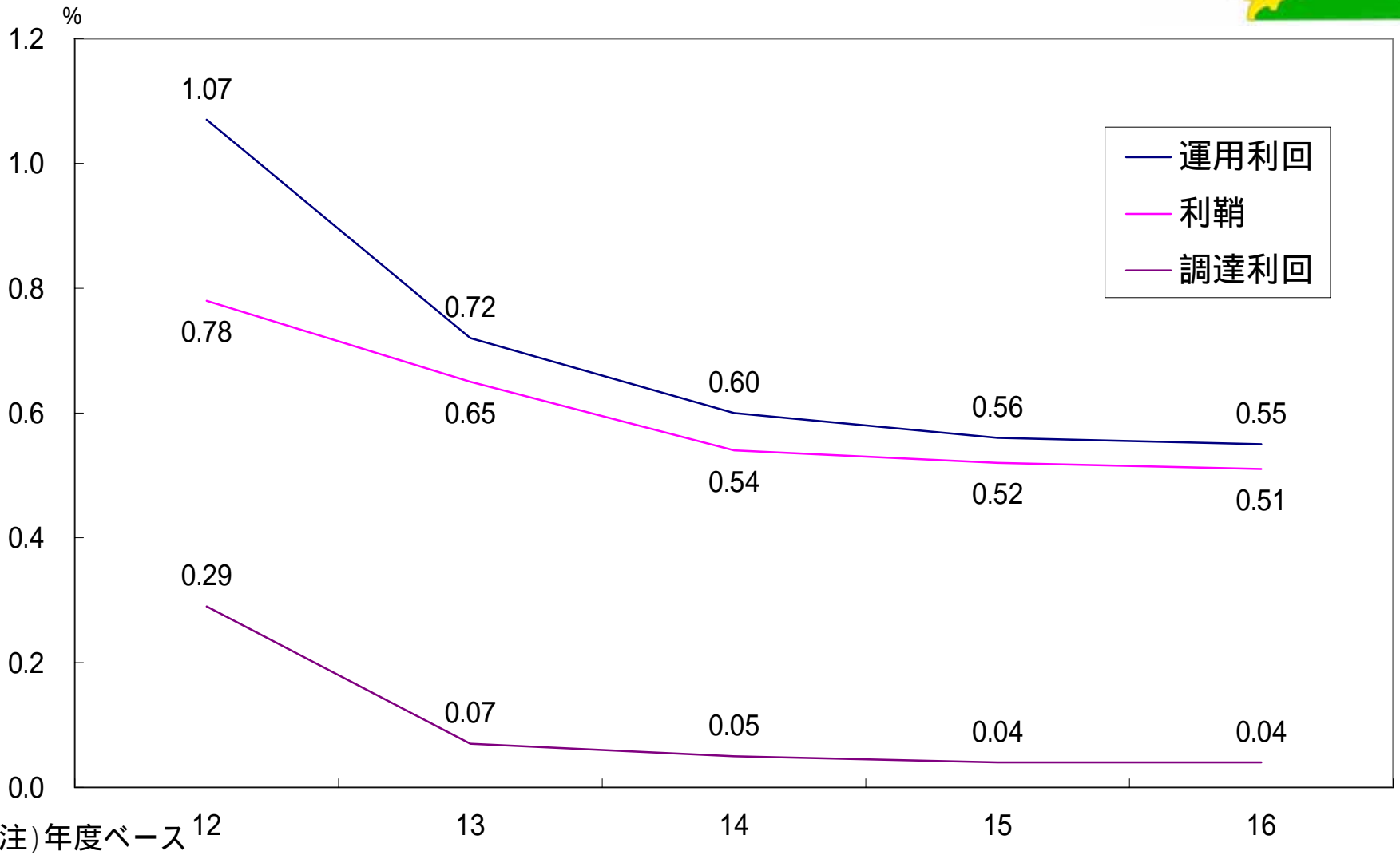
(単位：運用残高は億円、利鞘収入は百万円)



(注) 年度ベース、平残ベース

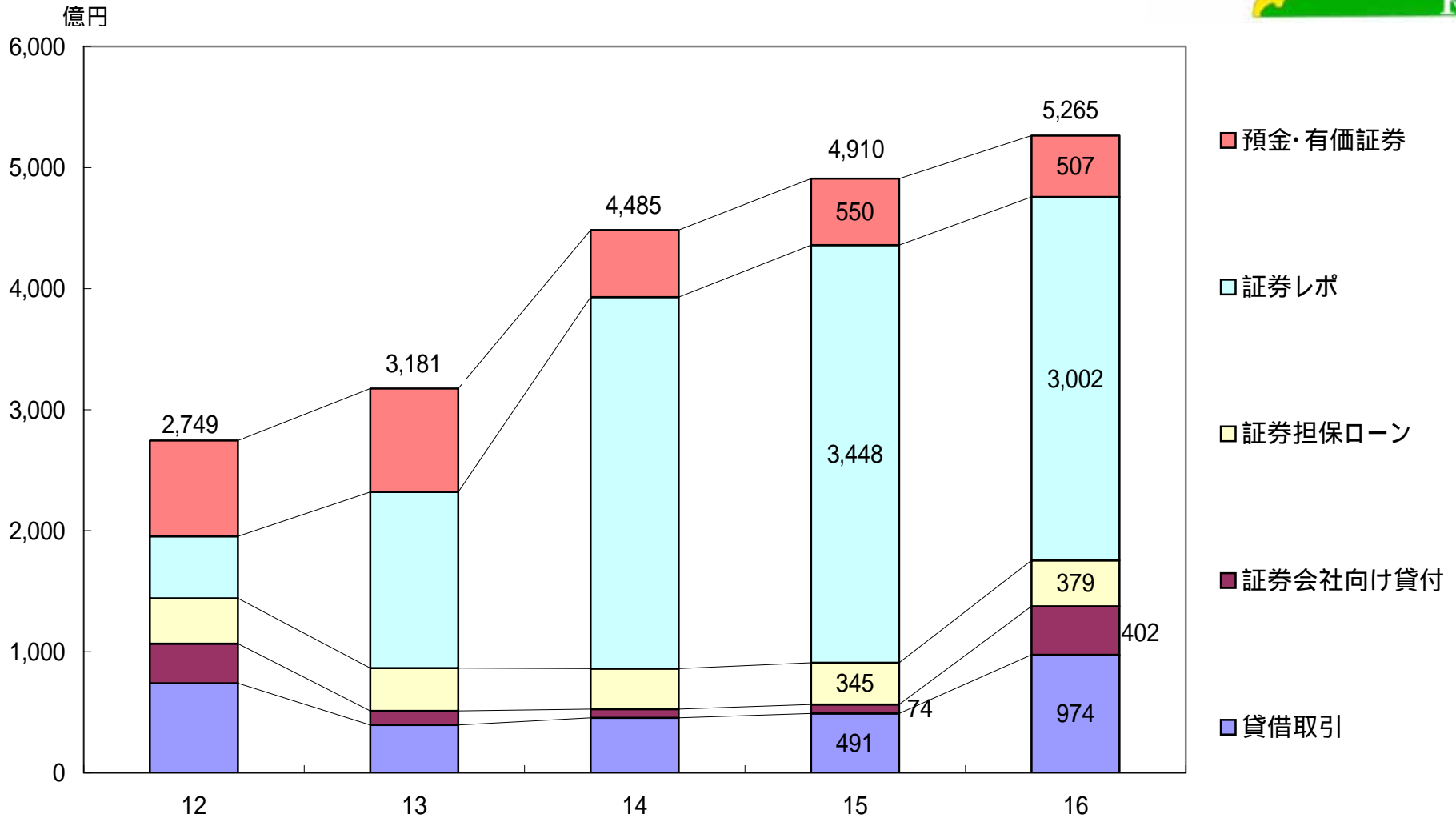


利回り、利鞘 - 横ばい



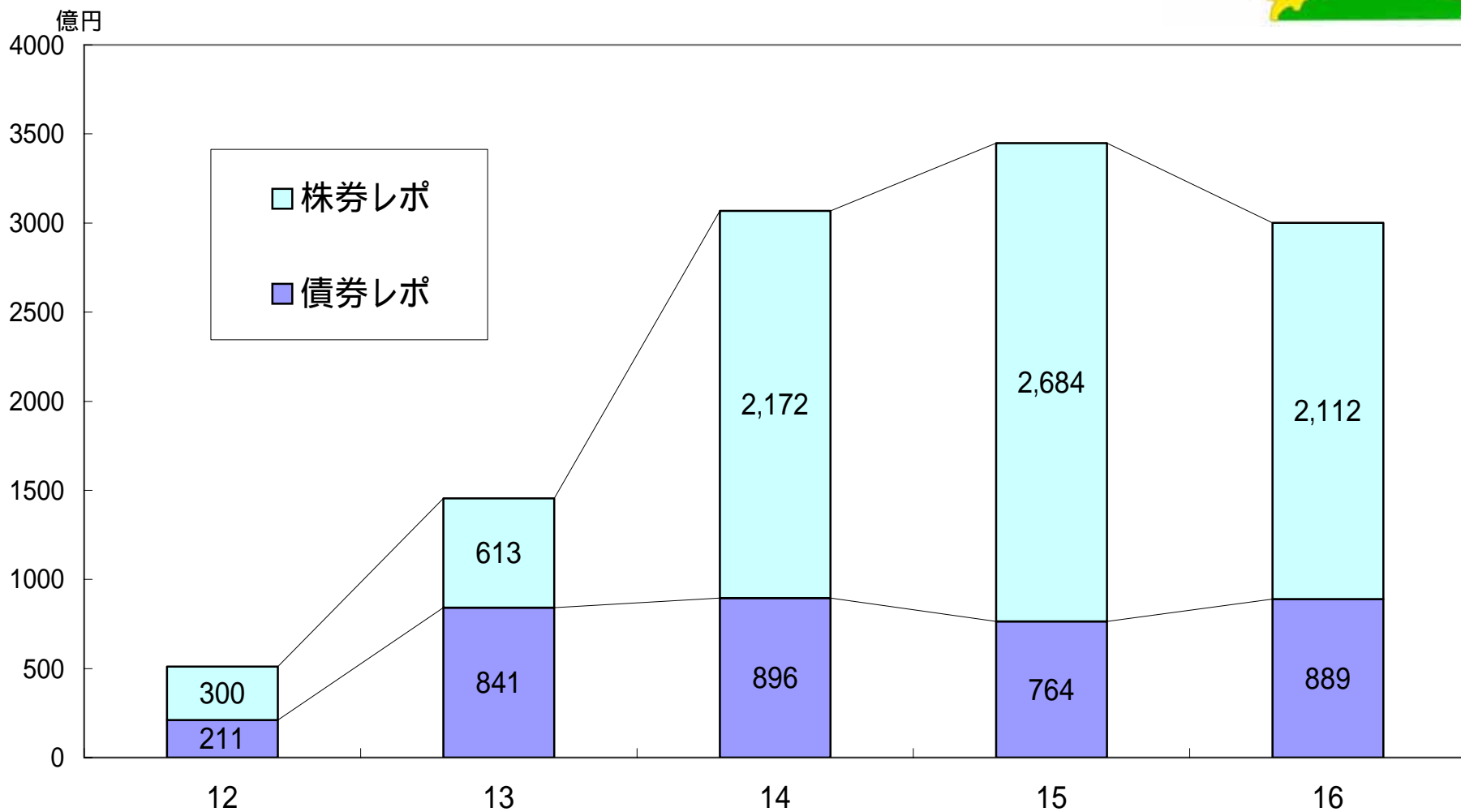


資金運用残高の内訳 - 貸借、信用サポートローンが大幅増加



(注) 年度ベース、平残ベース

証券レポ残高の内訳 - 株券レポが大幅減少



(注) 年度ベース、平残ベース



部門別運用収益 貸借、証券会社向け貸付が大幅増収

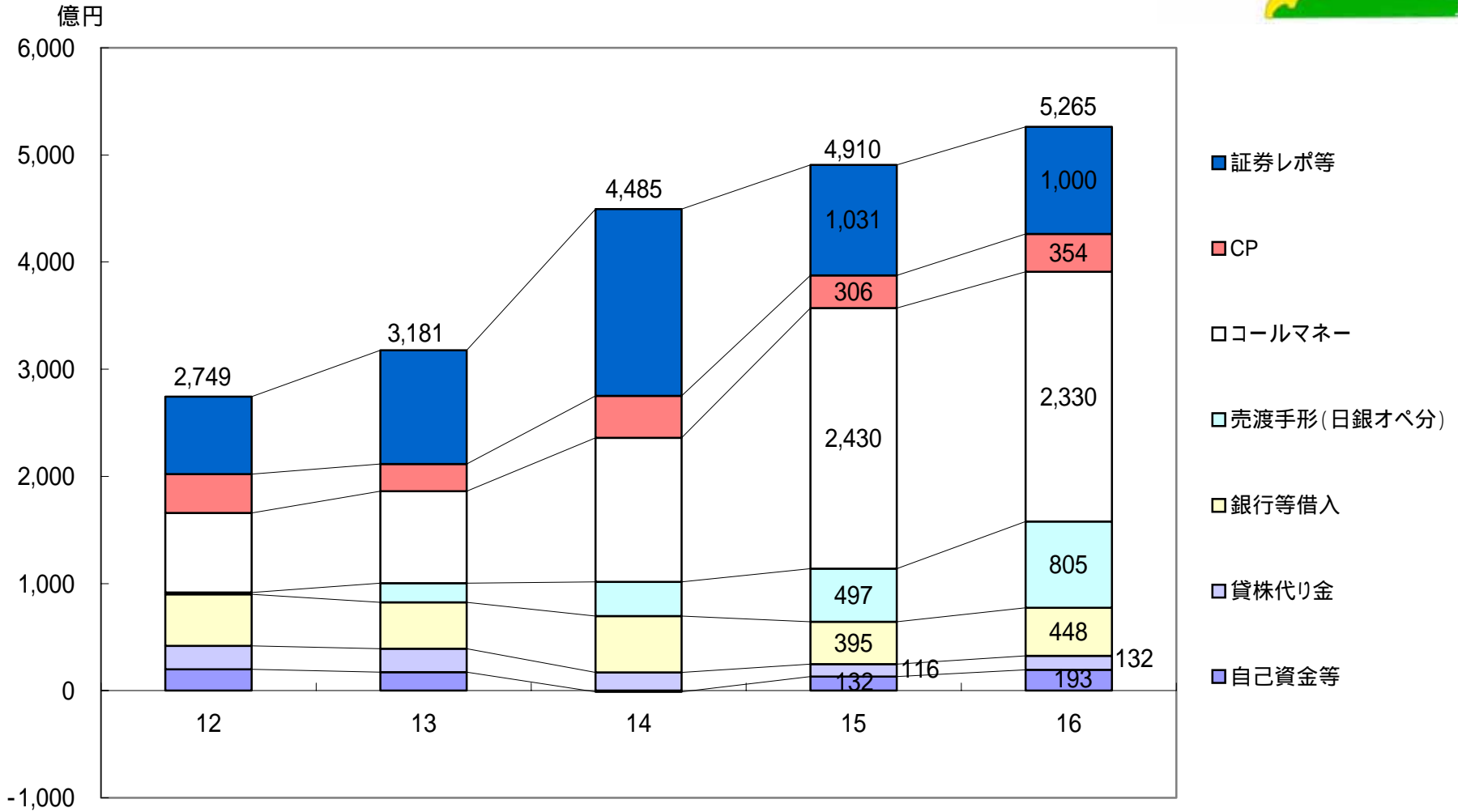
(単位：百万円)

	平成12	13	14	15	16
貸借取引	587	255	277	302	597
証券会社向け貸付	212	95	62	48	308
証券担保ローン	1,312	1,192	1,135	1,218	1,306
証券レポ	541	507	1,069	1,058	598
預金・有価証券	285	233	135	111	80
合計	2,940	2,285	2,680	2,740	2,891

(注) 1. 運用収益はグロスベース
2. 年度ベース



資金調達残高の内訳 - 低利の売渡手形が増加



(注) 年度ベース、平残ベース



有価証券貸付料の内訳 貸借取引は減収、一般貸株が堅調

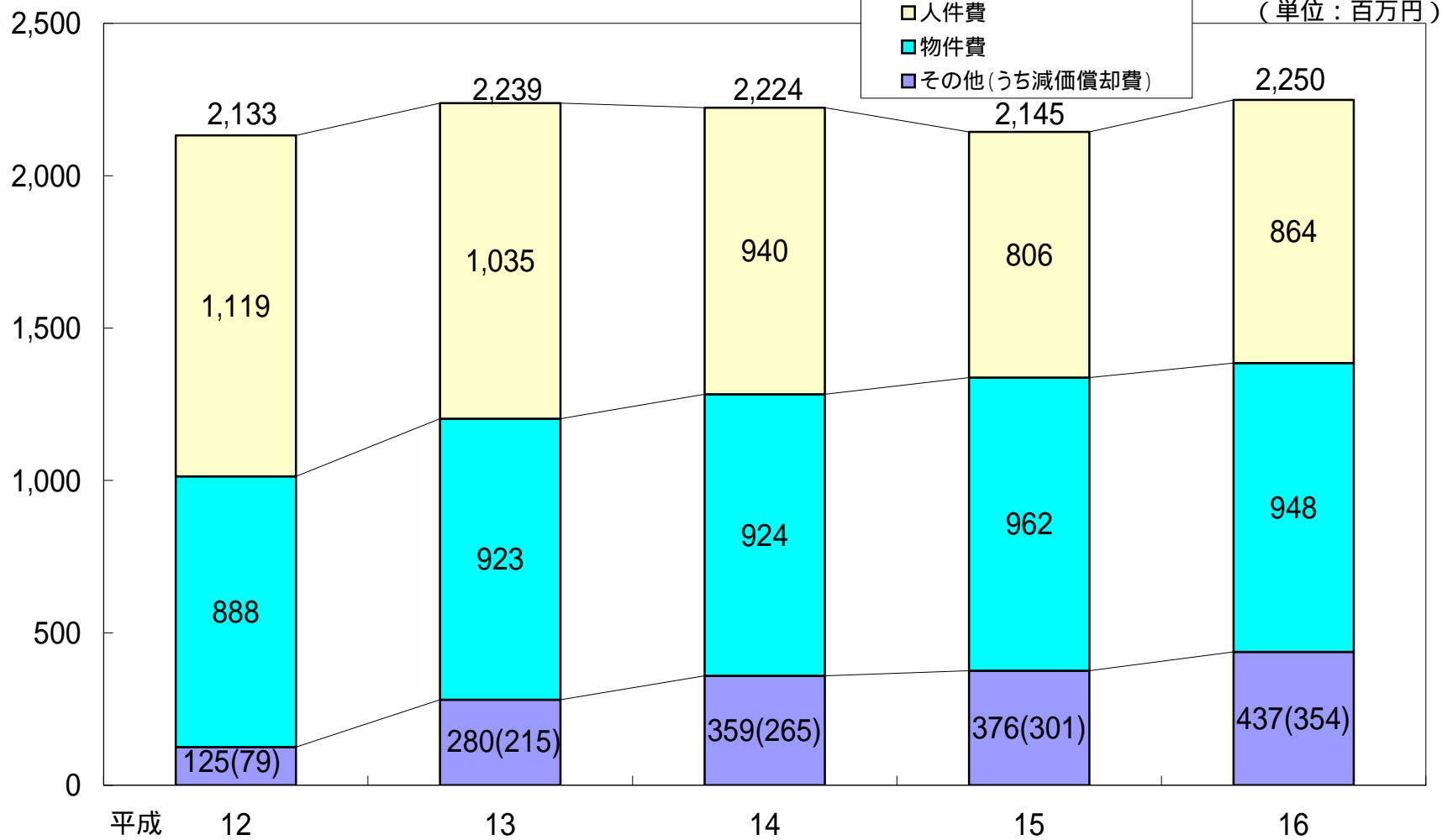
(単位：百万円)

年 度	平成 12	13	14	15	16
貸借取引	37	127	106	124	89
(グロスベース)	(656)	(1,962)	(520)	(457)	(292)
(うち貸借取引貸株料)	()	()	(73)	(97)	(85)
一般貸株	107	119	52	73	109
債券貸借	32	58	56	47	33
合 計	177	305	214	244	232

(注) ネットベース (貸付料 借入料)



一般管理費の内訳 退職給付費用、減価償却費が増加



(注) 年度ベース



4. 経営指標の状況

(1) 健全性チェックリストー高い健全性

(平成17年3月末)

<p>格付</p> <p>発行体格付け ^{シングルAマイナス} A - [格付投資情報センター(R&I)]</p> <p>短期格付け ^{エイワン} a-1 [格付投資情報センター(R&I)]</p> <p>^{ジェイワン} J-1 [日本格付研究所(JCR)]</p>	
<p>自己資本比率</p> <p>(1) 銀行ベース(BIS基準) = 15.73%</p> <p>(2) 証券会社ベース(証券取引法基準) = 1,233.8%</p>	<p><参考></p> <p>国際統一基準行単体ベース平均 12.1% (平成16年9月末現在)</p> <p>国内基準行単体ベース平均 9.5% (平成16年9月末現在)</p> <p><参考></p> <p>東証総合取引参加証券会社(109社)平均 524.2% (平成16年12月末現在)</p>
<p>貸出不良債権</p> <p>実質破綻債権、破綻懸念債権、要注意債権合計 2.8億円</p> <p>貸付金総額2,368.9億円に対する割合 0.1%</p>	<p><参考></p> <p>全国銀行(127行)平均 3.8% (平成16年9月末現在)</p> <p>金融庁が発表したリスク管理債権総額のうち破綻先債権と延滞債権の合計を貸付金総額で除して算出</p>



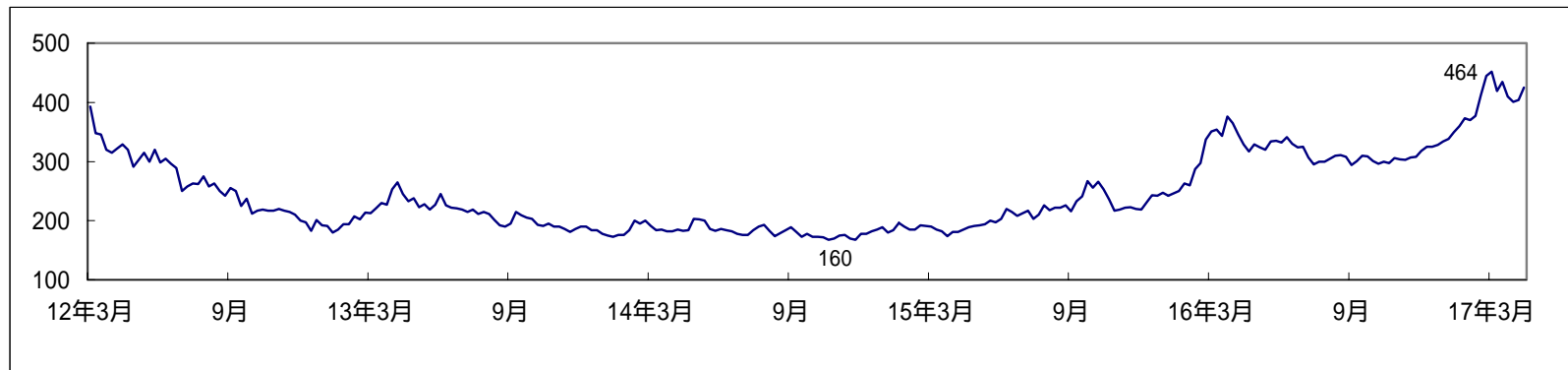
(2) 収益性関連指標の推移 収益性向上が課題

年 度	平成 12	13	14	15	16
株主資本利益率 (ROE)	(1.3) % 1.1	(0.6) 0.0	(2.3) 1.7	(2.7) 1.8	(2.5) 3.0
株価収益率 (PER)	(27.7) 倍 24.4	(50.7)	()	(23.3) 25.5	(28.1) 17.6
株価純資産倍率 (PBR)	(0.34) 倍 0.26	(0.31) 0.23	(0.31) 0.22	(0.56) 0.42	(0.65) 0.48
1株当たり配当	6.00 円	6.00	6.00	6.00	7.00

(注) () は単体ベース

参考：当社株価推移

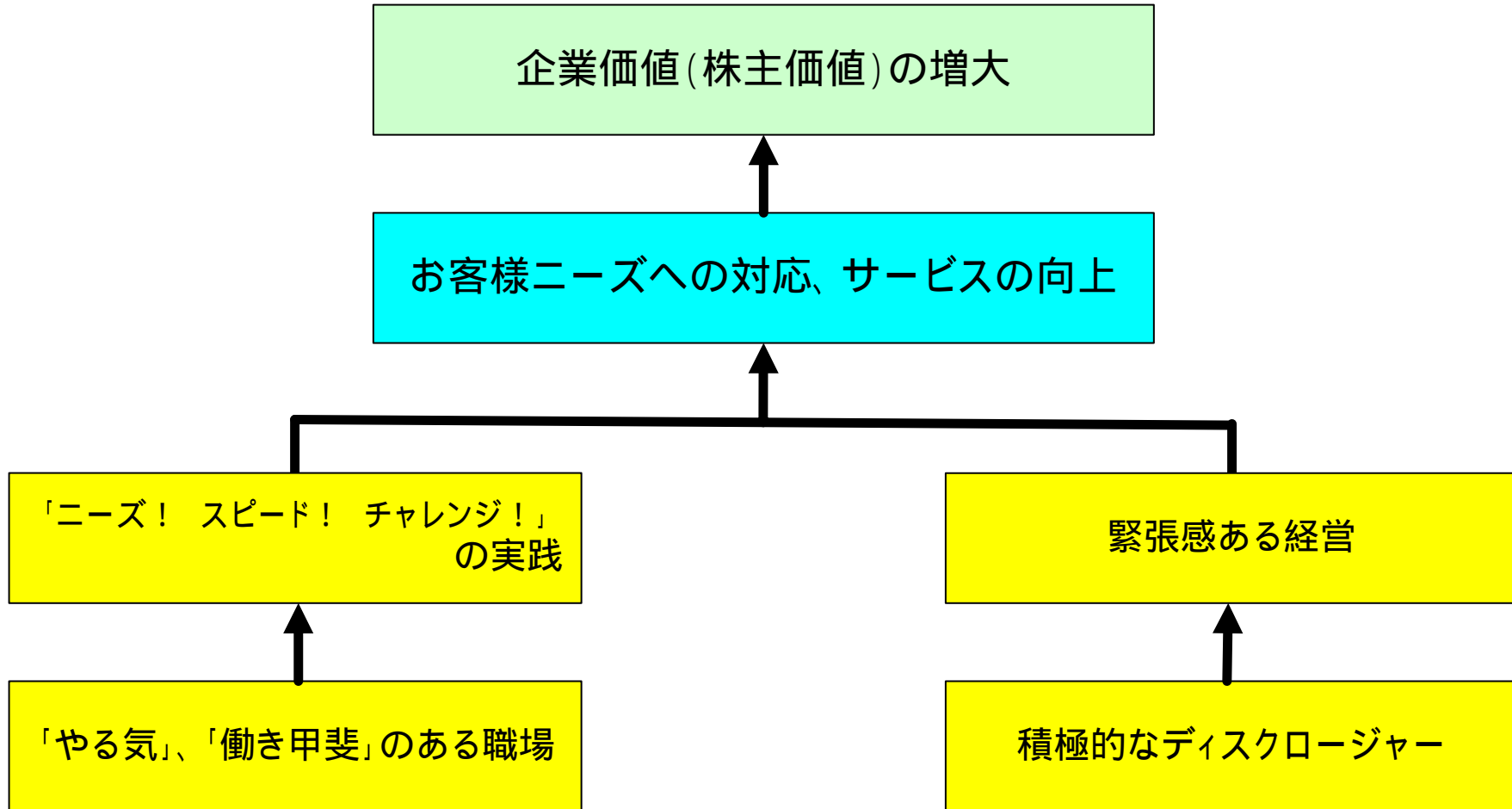
(単位：円)





5 今後の取組み

(1) 経営目標についての考え方



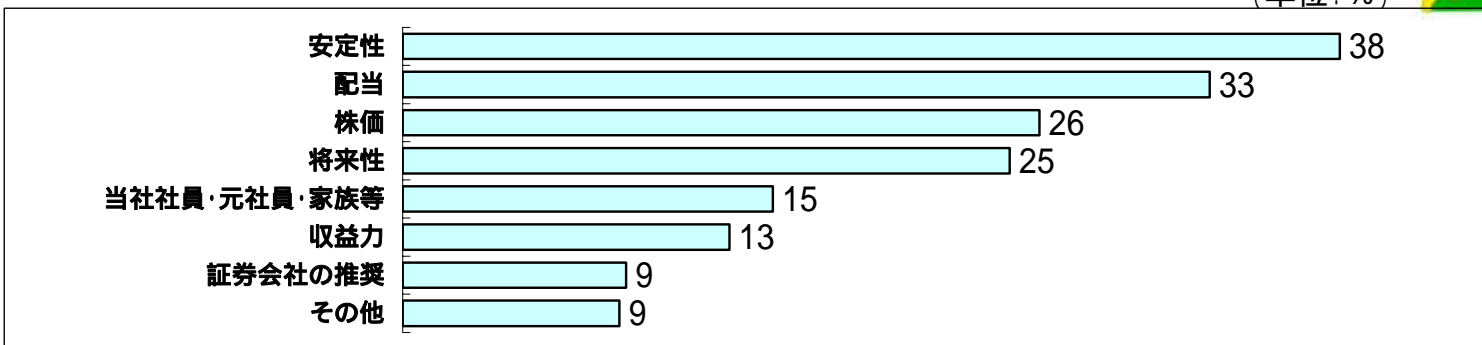
(2) 株主重視の経営

株主アンケートの結果(16年11月実施)

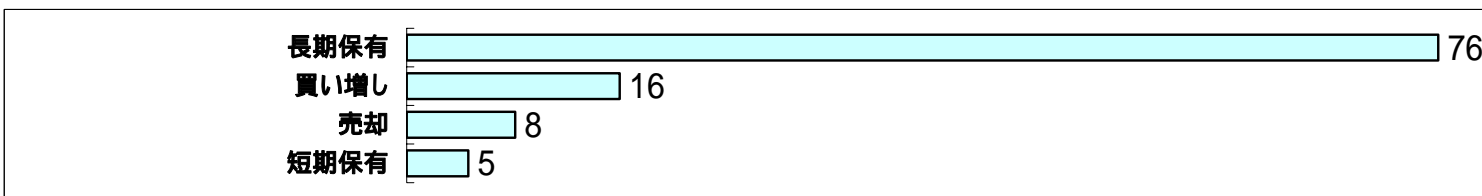


1. 当社株式を購入されたきっかけは何でしょうか？(複数回答可)

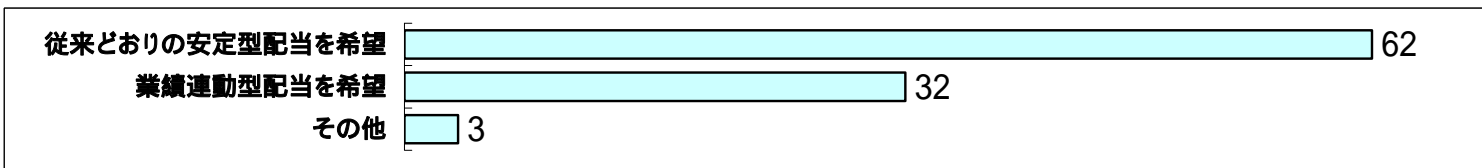
(単位: %)



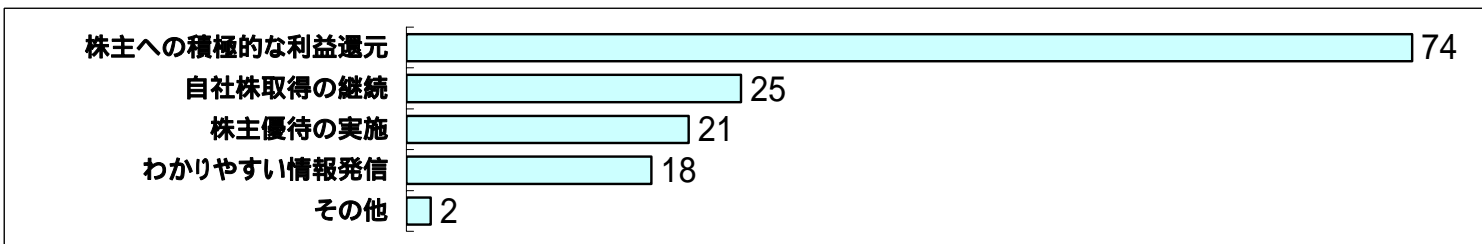
2. 当社株式について今後どのようにお考えでしょうか？



3. 当社の配当政策についてどのようにお考えでしょうか？

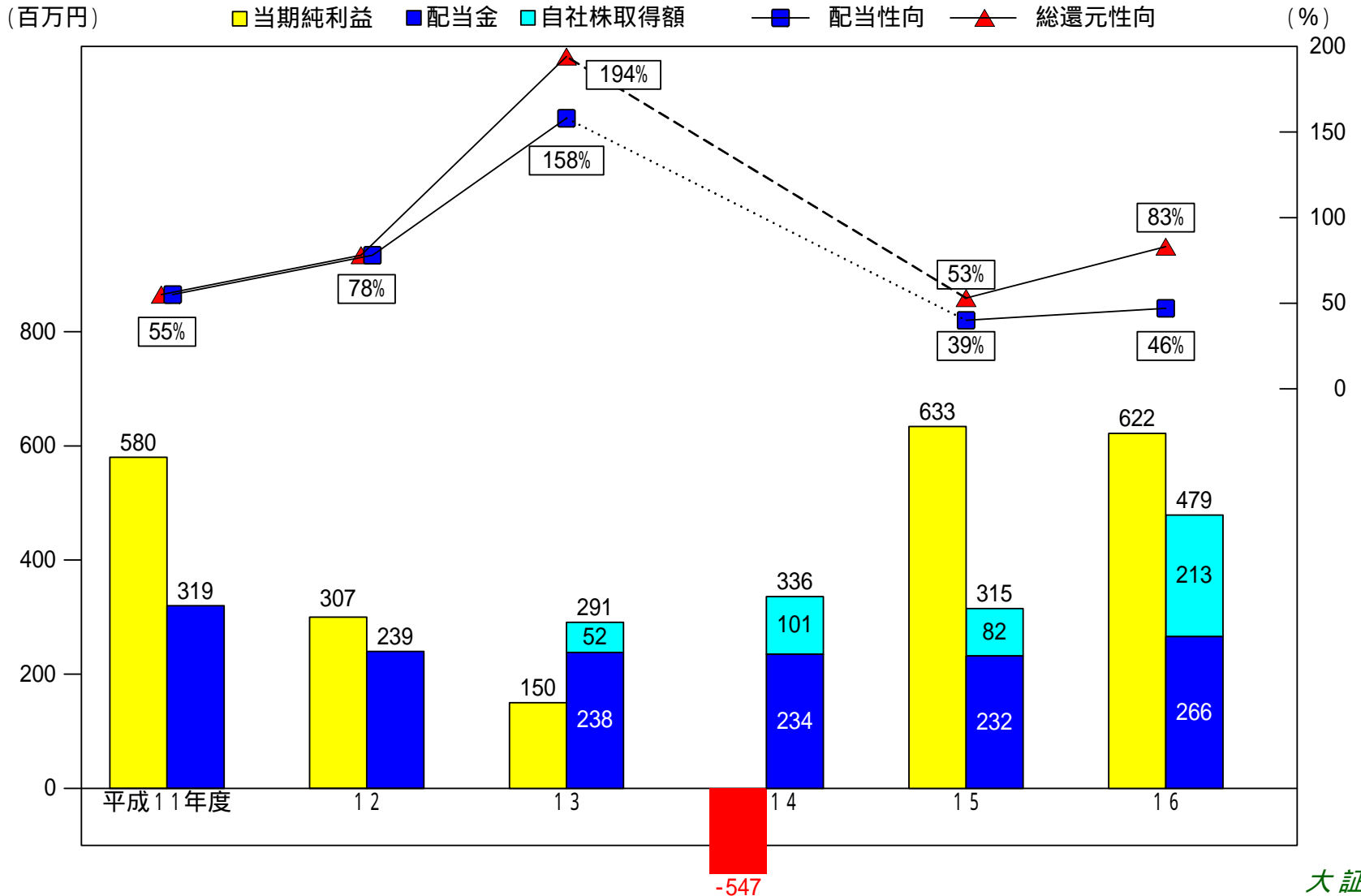


4. 今後、当社にはどのようなことを希望されますか？(複数回答可)





株主への利益還元状況



(注) 1. 平成14年度より1株当たり当期純利益に関する会計基準変更
 2. 総還元性向 = (配当金 + 自社株取得額) / 1株当たり当期純利益

(3) 中期経営計画の実現



基本認識

<p>使 命</p>	<p>「証券のための金融、証券による金融」を担い、 証券市場の発展に貢献する</p>
<p>目 標</p>	<p>企業の持続的発展を通じ、関係者の期待に応える</p> <p>株 主：高い収益性の実現</p> <p>お客様：ニーズへの対応、サービスの向上</p> <p>従業員：「やる気」に応える職場の提供</p>
<p>行動指針</p>	<p>「ゼロからのスタート」の精神で</p> <p>「ニーズ！スピード！チャレンジ！」を実践する</p>

経営目標

<p>収益性</p>	<p>経常利益</p>	<p>平成 19 年度は 17 億円を達成する</p>
	<p>R O E</p>	<p>平成 19 年度は 4 %以上を達成する</p>



利益計画

(単位：億円)

	平成 16 年度実績	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度
営業収益	36	41	45	49
経常利益	6	11	14	17
当期純利益	6	7	8	11

平成 17 年度経営目標

1	経常利益 11 億円を確保し、ROE 3%を達成する
2	リスク管理の徹底、強化を図る
3	企業体質の更なる強化に努める



(4) 平成17年度の見通し

(単位：百万円、%)

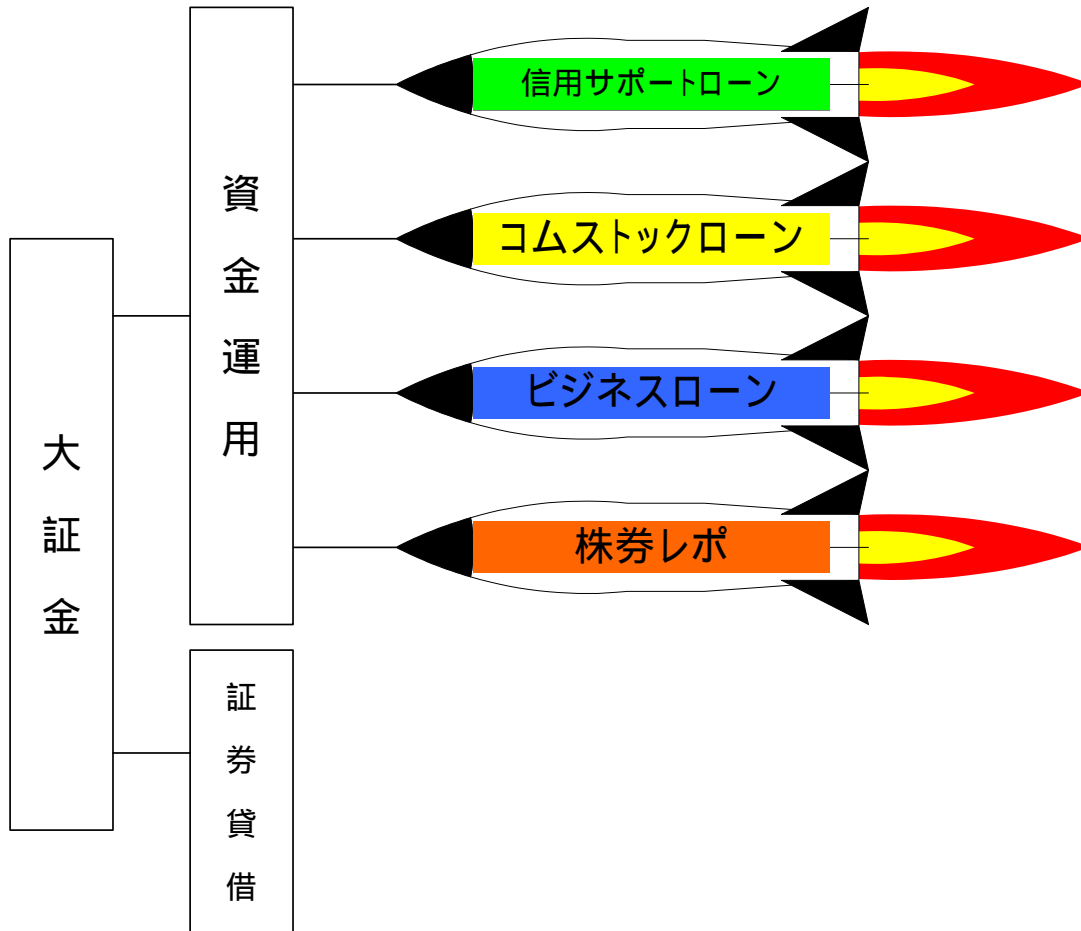
	連 結				単 体			
	16年度実績	17年度見通し			16年度実績	17年度見通し		
		増加額	伸び率			増加額	伸び率	
営業収益	6,659	7,300	641	9.6	3,611	4,100	489	13.5
経常利益	1,317	1,700	383	29.0	633	1,100	467	73.7
当期純利益	973	1,000	27	2.7	622	700	78	12.5

(単位：円)

一株当たり 当期純利益	23.92	26.40	/	14.97	18.40	/
----------------	-------	-------	---	-------	-------	---



(5) 収益力向上の4つのエンジン



(年度末残高、億円)

16年度実績	17年度目標
686	1,000
82	120
127	200
1,625	2,100